

海老名市立大谷小学校 学校運営協議会 議事録  
(令和7年度 第1回)

- 1 日時 令和7年5月12日(月) 9:00~10:30
- 2 場所 海老名市立大谷小学校 校長室
- 3 出席委員 石井 正雄委員長、藤澤 ゆかり委員、今別府 淳子委員、桐生 行雄委員、吹越 真佐美委員、鈴木 竜也委員、ホーランド 佳奈委員  
島仲 京子校長、岩上 克成教頭、岩瀬 歩総括教諭

4 会議の内容

(1) 委嘱状交付

今年度新規委員の委嘱状交付

(2) 学校長挨拶・教育目標について

島仲校長：中学校区の共通の学校目標、「めざす子ども像「追究する子」、「創造する子」、「協働する子」に大きな変更はなく、昨年度見えてきた課題を解決しながら引き続き活動に取り組んでいく。今年度は通級「そだちの教室」ができる。フルインクルーシブ教育の取り組みの中で、在籍は通常級でその子に適した対応ができるという方向で対応を探っていく。そのほか今年度のPTAの広報委員がいないので、児童の広報委員に作ってもらう予定である。

子どもたちを地域と共に育てていくことは引き続き重点課題として、充実させていきたい。今後とも地域の力をお借りしたいと考えているのでご協力をお願いしたい。

鈴木委員：PTA 広報は子どもがどのように作るのか。

島仲校長：Canva を使って電子媒体で作成していく。費用に関してはPTAが負担する。

桐生委員：学校目標は子どもたちとも共有し、子どもたちが自覚して活動に取り組んでいくとよいのではないか。また、学校教育目標に沿った子どもたちの活動を学校だより等で地域にも伝えていくと、地域の協力も得やすいだろう。

藤澤委員：自治会の回覧で学校だよりやPTA 広報は届くが、他の情報と一緒にになってしまうよりは、単独で大谷中学校区の学校だよりがあると情報がいきわたりやすいであろう。

桐生委員：めざす子ども像にある「生きて働く『知識・技能』」の「生きる」とはどのような意味か。

島仲校長：個々の知識・技能ではなく、概念的であり汎用性のある知識のこと。教科で学んだ知識や技能がその場面でだけで使えるものとなるのではなく、他の場面でも活用できる力であり、子どもたちが社会に出ても活躍できるような力のこと。

石井委員長：新しい学習指導要領はいつからか

島仲校長：2027年の予定。大きな方向転換はなく、知識・技能の概念化や不登校児童の評価等が視点として挙がってくると言われている。

### (3) 年間行事予定について

岩瀬委員：R7年度は運動会が2学期。11月に土曜参観、図工作品展が12月の個別懇談期間になった。学習発表会も各学年の授業参観に行うようにした。

### (4) PTAの現状について

ホーランド委員：ここ数年の中でPTAの任意加入への移行、登校班から個別登校へと取り組んできた。保護者の環境を考慮し、子どもたちのよりよい学校生活のためにという思いを生かせるかたちにしていきたい。

今別府委員：個別登校になっても今まで通り登校班のメンバーで連絡を取り合っている保護者もいる。1年生の親の中には心配して送っている姿も見る。心配している様子がうかがえる。

鈴木委員：自分の家では登校班の時に比べて自主的に朝の支度をしている。

岩上教頭：最近、通学路を外れて登校する子を見かける。通学路はしっかり守るよう指導していきたい。

吹越委員：先日、先生と児童と保護者が歩いているのを見かけた。

岩瀬委員：3年生の町探検で保護者にボランティアをお願いした。

島仲校長：PTAの入会率は低くなったが、協力したいという保護者はたくさんいる。

桐生委員：大谷小にとってPTAはどうあるべきか、課題に向き合っていただきたい。

### (5) その他

次回の、学校運営協議会は、令和7年10月14日（火）9:00から開催予定。運動会への取り組み状況についてもお伝えしていきたい。